

10月度一般公募山歩きの会報告書

報告者: 渡辺

報告日: 05.10.11

山名	鈴鹿	山行日	05年 10月 08日(土)	参加者	CL: 渡辺、 SL: 中山、
山行目的	御在所岳(1212m)		~ 年 月 日()	部外パ-	浜島、佐溝、岩崎、不破、福島
	一般公募者との山歩き		(日帰り)	一般公募	竹本、北村、高梨、中山(奈)

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
集会: 枚	
山行リ-ダ;	
原紙, 集会 担当者	

ルート図(地図を見て正確に)

5万分の1地図; 御在所岳

10/8(終日小雨)
7:15 刈谷発
9:00 みすず荘着
9:15 みすず荘発
10:15 スカライン蒼滝トンネル前
10:25 道路左側よりガードレールをまたいで表道登山道に入る
10:35 三つ口谷出合 再びスカラインに出て道路右側の表道登山道に入る(標識有り)
11:30 滝見台
12:30 御在所岳頂上(一等三角点の看板あり)
12:40
13:20 朝陽台(山上駅前) 中道パ-ティと合流、以後は全員行動で裏道ルートを下山

< 山行記録 >

山岳部が企画した一般公募者との合同登山として定刻に会社が提供してくれた大型バスで出発。朝からどんよりとして今にも降り出しそうな空模様で先行きが思いやられ、一般公募者の山に対する第1印象が懸念されるところである。後々の作戦を考えればこちらとしてはできるだけ山と山岳部に好印象を持って帰ってもらいたいのが本音の山行でもある。

車中でパーティ編成され、表道パーティは、山岳部OBと一般公募された4名の計11人の構成となったが、元気一杯、小雨の降る中みすず荘を出発。スカラインを1時間ほど歩き、蒼滝トンネルを抜け、中道ルートの入り口を右手に見てさらに300mほどで、ようやくガードレールの左側で湯ノ山温泉からの表道登山道と合流するがみすず荘からこまでの車道歩きはメンバーの足慣らしのウォーミングアップにはちょうど良かったとみえて全員の足取りは軽い。登山道に入ったと思ったら直ぐに三つ口谷出合に着く。大きな砂防堤ができており、直ぐ上をスカラインが走っており昔の面影は全くない。再び車道に出てしばらくすると、右手に表道の標識が小さく出ているが、雨のせいかな登山者の影も全くなく、うっかりすると見過ごしてしまいそうだ。

ここからはいままでのだらだら歩きが一気にかんりの急登となり、1時間ほどで百間滝の見通せる滝見台を通過し、さらに高度を稼ぐと急に頂上の周回道路に飛び出す。中道パーティが遅れていることもあり、我々は左にルートを取って頂上へ行くことにする。頂上に着き、とりあえず全員で「登頂」を祝って握手を交わすも雨は止まず、吹き抜けで風も強いので、早々にここを下り、折りよく到着した中道パーティとロープウェイ山上駅の朝陽台で合流し、表道パーティとしての行動を終了した。

今回は紅葉には早く、雨とガスで展望も悪く、唯一の救いは登りに猿の群れを、下りにカモシカを見たことだけのただひたすら歩くことに終始した山行であったが、このことを一般公募で参加された皆さんがどのように受け止めてくれているのか、その反応に注目したい。

< リーダ所見 >

子供からOBまで年齢差、実に61歳の混成パーティが天候不順の中で無事に歩き通すことができて何よりであった。今後もこのような会を継続する場合は今回の結果を反省し、次回に反映させていきたいと思う。